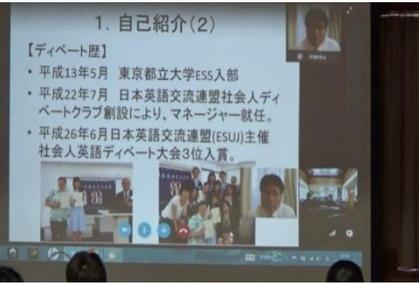
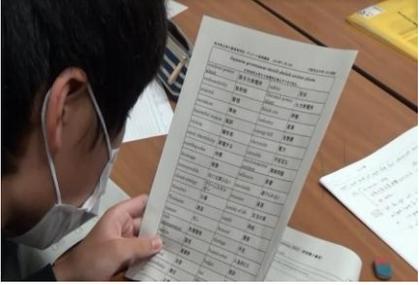


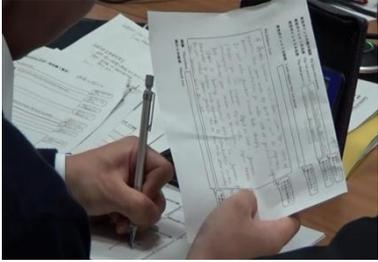
第6回 即興型ディベート基礎講座

講義『環境と経済』 Report

- 日 時 2014年11月15日(土)
- 場 所 本校4F会議室
- 指 導 者 中川智皓先生、社会人5名、九州大学生4名
- 参 加 者 生徒38名(男子15名/女子23名)
- 準 備 物 スクリーン、PC(1台)、プロジェクター(1台)、スピーカー
- 講 義 環境と経済(講師:伊藤 久仁良 先生)
- 実 践 演 習 ①Japanese government should abolish nuclear plants.
②Carbon tax does more good than harm to Japan.

<p>1</p>	<p>中川先生より</p> <ul style="list-style-type: none">・伊藤先生のプロフィール・ディベート歴紹介 東京都立大学在学中、ESSに入部し、即興型英語ディベートを始められ、日本パラメンタリーディベート連合役員に当選、オーストラリア大使館助成事業「豪日交流企画」を担当。卒業後、日本英語交流連盟(ESUJ)主催英語ディベート大会入賞される。 国連関係の業務に従事すると共に、女性担当大臣の海外出張に随行されている。・講義を聞いてポイントを簡潔にまとめること	 <p>1. 自己紹介(2)</p> <p>【ディベート歴】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成13年5月 東京都立大学ESS入部・平成22年7月 日本英語交流連盟社会人ディベートクラブ創設により、マネージャー就任。・平成26年6月日本英語交流連盟(ESUJ)主催社会人英語ディベート大会3位入賞。 
<p>2</p>	<p>伊藤先生より</p> <ul style="list-style-type: none">・普段している仕事など自己紹介 大学卒業後、内閣府本府入府、「内閣官房すべての女性が輝く社会づくり推進室」で女性の活躍推進による社会の活性化を担当。また、社会人にディベートを広める活動をしている。	

	<p>《政策について》</p> <p>「行政」には政策がある!!</p> <p>では、どうやって「政策目的」を達成するのか?</p> <p>①規制改革 (例)薬品ネット販売解禁</p> <p>②交付金 (例)沖縄振興一括交付金</p> <p>③減税/増税 (例)炭素税、配偶者控除</p> <p>では具体的にどう進めているのか?</p>	
	<p>政策分析① (原子力政策)</p> <p>目的：原子力発電の推進により、エネルギー安定供給、地球温暖化対策に貢献。</p> <p>手法：交付金を地方公共団体等への交付 原子力、水力など発電所の立地を保護</p> <p>【原子力政策】</p> <p>《賛成》 ・CO2 排出がほぼゼロ ・安定した電力が供給 ・コストパフォーマンス</p> <p>《反対》 ・安全性の確保 ・一度の事故で広範囲な被害 ・再生エネルギーの可能性</p>	 
	<p>政策分析② (環境税)</p> <p>環境税…CO2 の排出に税金を。</p> <p>木が減ると CO2 の吸収が減り、南極などの氷が溶け、海面が上昇、ペンギンや白クマの生息地が減少。</p> <p>目的：再生可能エネルギーの導入や省エネ対策をはじめとする地球温暖化対策の強化。</p> <p>手法：石油、炭素税に対して税率を上乗せ</p> <p>【環境税】</p> <p>《賛成》 ・CO2 排出量減 ・環境意識増</p> <p>《反対》 ・家計&企業の負担 ⇒経済活動の減</p>	
<p>3</p>	<p>英語でディベート①</p> <p>①Japanese government should abolish nuclear plants.</p> <p>英語でのディベートに入る前に今回のディベートで使用する単語の練習。</p>	

	<p>英語でディベート②</p> <p>②Carbon tax does more good than harm to Japan.</p> <p>英語でのディベートに入る前に今回のディベートで使用する単語の練習。</p>	
<p>4</p>	<p>まとめ・感想【伊藤先生より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところにディベートの論題はある。 ・目を向けて反対、賛成の意見を日ごろから考えるようになって欲しい。 	